

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 オーラルフレイル対策をして健康寿命を延ばそう

【質問要旨】

80歳で20本の歯を残す8020運動は厚生労働省が日本歯科医師会とともに平成元年から提唱を始め、30年が経ちました。8020達成率は当初7%でしたが、2016年では51.2%となっています。子どもから大人まで8020運動は定着し、子どもの虫歯罹患率も年々減ってきています。

虫歯予防、歯を残すことに対する意識は以前に比べて格段に高くなっていると考えられます。その一方で口腔機能の低下に対する関心は高いとはいえず、予防対策も不十分です。

加齢に伴い舌や頬、口周りなどの筋肉量や筋力が低下すると食事を食べこぼす、お茶や汁物でむせる、硬いものが食べづらい、滑舌が悪くなるといった口周りのトラブルが現れてきます。これら些細な症状は日常生活に大きな影響を及ぼすものではないため「年だから仕方ない」と見過ごされてしまいます。

このような口の機能の衰えをオーラルフレイルといい、この状態を放っておくとさらに機能が低下し咀嚼障害や嚥下障害などにつながり要介護のリスク、誤嚥性肺炎のリスクが高くなるとの報告もあります。

つい見過ごされてしまう些細な口のトラブルはその後の全身の衰えにつながってきます。

オーラルフレイルの予防は早い段階で始めるほど健康な状態に戻りやすいとされています。

オーラルフレイルに対する意識を高め早くに気づき、対策をとることで健康寿命を延ばすことができることから、小平市での歯と口の健康に対する取り組みについて以下質問をします。

1. 成人歯科健診を行なっていますが、昨年度の受診者数と年齢層の分布についてお示ください。
2. 8020運動とともに口腔機能維持が必要と考えますがオーラルフレイルに対する認知度を上げるため市としてどのような取り組みをしていますか
3. 市ではロコモティブシンドローム予防のために「こだ健体操」の普及活動を行なっています。同時に広く市民に口腔機能の維持・向上を啓発していくことを提案しますが市の見解は。
4. 誤嚥性肺炎を予防するためにもオーラルフレイル対策は重要です。地域包括支援センターを中心とした介護予防講座にオーラルフレイル対策を取り入れることはできますか。
5. オーラルフレイルのスクリーニングテストや改善プログラムを歯科医師会とともに実施することについての見解は。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2019年 11月 18日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

27	26	25	24